

第22回 青少年文化体験フェスタ 体験は貴重な子どもたちの財産

7月6日(土) 第22回青少年文化体験フェスタを入間川小学校で実施しました。猛暑が心配されましたがなんとか過ごせる暑さの中、延べ332名の小中学生が和太鼓・工作・民謡・日本舞踊・朗読・箏・演劇・ジャズダンス・いけばな・世界の言葉であそぼう・オカリナの演奏・絵画・中学生ボランティアの13種類の体験をしました。

伝統文化の伝承や子ども時代に豊かな体験の機会を提供したいと熱心な指導が行われました。

どの指導者も楽しく関わったようでしたが、繰り返し参加できる体験に向けた工夫や、学年に合わせた体験の企画を考えていきたいと課題提起がありました。体験の内容を充実させていく一步になるのではと期待しています。

また会場運営のスタッフに、交通安全協会に加えPTA連合会と大学生ボランティアの協力が得られたことをありがたく思います。期待に沿った内容になるよう努力してまいりますので、小中学校の校長先生はじめみなさまに引き続きご協力をよろしくお願い致します。



七夕をイメージしたいけばな



かわいい所作の日本舞踊

《体験した子供たちの声》

- 七夕をイメージしたいけばなは、ふつうのいけばなとちがって楽しかった。
- 体験の時だけでなく、外出した時など、きれいな草花を見つけたら、いけてみたいと思いました。
- 「かわったれ」のげきをやって覚えるまでは大変だったけど、とても楽しかった。やさしいお友だちができた。

《来賓や御協力いただいたスタッフの皆さんから》

- スタッフの皆様には準備から当日の子どもたちの指導、そして運営とご苦勞をいただきありがとうございます。子どもたちが伝統文化にふれることのできる貴重な場だと思います。
- どの体験についても子どもたちの意欲ある表情、姿に驚きと感動をいただきました。
- 生け花、和太鼓、日本舞踊などなかなか体験できることのないプログラムでそれらを体験していた小中学生が非常にうらやましく思いました。「世界のことばであそぼう」では、撮影者である私も楽しんだり・・・

実行委員長 岸野智子